



大臣官房長賞



食料の安定供給

やまぐち子実コーン協議会

地域産飼料から始まる持続可能な農と食文化創造プロジェクト



飼料用トウモロコシ栽培、国産原料飼料工場の建設にいち早く取り組み、小売や飲食店も参画し地域全体での耕畜連携を推進

概要

- 担い手不足や輸入飼料の価格高騰が課題となる中、飼料用トウモロコシを活用し、農業経営改善と畜産振興の両立を目指した。
- 2015年から飼料用トウモロコシの試験栽培を開始し、国産原料専用の飼料工場を整備。
- 農家、畜産農家、小売・飲食事業者、JA、行政が連携する協議会を組織し、地域全体で事業を推進している。

成果

- 地域で飼料を製造・供給する体制を構築。畜産物に合わせた独自の飼料設計や周年放牧と組み合わせ、付加価値の高い畜産物生産を実現している。
- 山口県や宇部市・山口市、JA等と連携し、県内各地へ取組を展開。トウモロコシ生産の拡大に加え、地域畜産物のブランド化を進め、地域農業の活性化につなげている。
- 実演会やセミナー、視察受入れを通じて取組を普及。実習受入れや他地域へのノウハウ提供も行い、耕畜連携による農畜産振興を県内外へ広げている。

基本情報

事業開始年度
2017年

活動年数
11年

活動地域
山口県

審査委員からのコメント

収穫作業請負や飼料工場整備、県内外で子実生産拡大の兆し。労働力と米消費が縮小する中で成功が望まれる取組み。